

節分は一家そろって!

作 フジタ ヲカ



草刈りに汗を流す皆さん

山手中生徒会・西阿倉川若生会の皆さん

アイナシの草刈りをする

アイナシは、イヌナシと栽培されているナシの中間の種という意味で、明治三十六年に発見され、大正十一年に国の天然記念物に指定された、文化的・学術的に価値の高いものです。

イヌナシが他にも見られるのに対し、アイナシは、日本では全く発見されていない、非常に珍しいものです。

自生地では、適度な日当たり、風当たり、湿気、養分等がバランスよく保たれる必要があります。つまり、放っておいてもダメ、きれいに整理し過ぎてもダメというわけです。

昨秋、市教育委員会文化財担当職員の下、山手中学校生徒会の皆さんと、西阿倉川

老人クラブ「若生会」の方々によって、草刈りが行なわれました。ササヤツル、雑木の繁る自生地も、二時間余りで刈り取られ、見違える程美しい環境に

なりました。アイナシの由来の説明を受けて、参加者全員が『アイナシは地域の大切な文化財である』との認識を新たに、今後も定期

老人と子どものゲートボール大会開かる

十一月三日、文化の日。世代

交流とお年寄りの体力づくりを兼ねた、海蔵地区老人と子どものゲートボール大会が、小学校運動場で行なわれました。あいにくの曇天にもかかわらず、老人クラブのブロックより選ばれた小学生とお年寄りの混成チームが、それぞれ技を競い合いま

した。ゲートボールは、イギリスの上流社会に伝わるクリケットを基にして、どこでも、誰でも、気軽に楽しめるようにと、日本で考案された

に競技することは楽しく、意義深いものです。今後も定期的に行なってもらえれば有難いが、と話しておられました。

「若生会」会長 館佐市さんは、「こうして子どもたちといっしょ



ゲートボール風景

